愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	企業とコンプライアンス		
担当者(Instructors)	柘植 智甫	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

この講義は、企業法務やスタートアップ法務を手がけている現役の弁護士教員が、実際のビジネスで生じる様々な事例をもとに、企業におけるコンプライアンス事例を紹介し、学生のみなさんとともに解決の方針や方法を考えるものです。就職や起業を間近に迎える学生のみなさんが、ビジネスの場で、自らの力でコンプライアンスの課題に気づき、分析し、対処法を考え、実行に移す力を身につけることを目的とします。対面で講義を行いますので、積極的に参加してください。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	本講義は対面形式で行います。学生のみなさんは、講義で提示される具体的なケースをもとに、ケース事例におけるコンプライアンス上の課題を考えます。その上で、クラス全体でその課題を共有できるよう、教員と学生のみなさんとで検討します。課題を把握した後、ビジネスにおける基本的法規制を伝え、それを元に解決方針を検討し、実践的な知恵を身につけます。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	企業の仕組みとは何か、また企業に関わる人々を考えます。本講義の受け方と評価方法等についても説明します。	□
第2回	【総論①】コンプライアンスとは	企業におけるコンプライアンスの意味やその目的を説明し、具体的なケースに沿ってその大切さや判断枠組を学びます。	□
第3回	【各論（ヒト①）】セクハラとパワハラ	ハラスメントとは何か、具体的なケースに沿って考えます。ハラスメントがなぜいけないのか、それをどう防止するのかを学びます。	□
第4回	【各論（情報①）】秘密データの持ち出し	営業秘密とは何か、具体的なケースに沿って考えます。営業秘密の持ち出しがなぜいけないのか、それをどう防止するのかを学びます。	□
第5回	【各論（モノ①）】広告表現の留意点	事実に基づかない広告や誇大広告はなぜいけないのか、具体的なケースに沿って考えます。そして、広告についての基本的規制を学び、広告コンプライアンスを高めます。	□
第6回	【各論（カネ①）】会社のお金の使い込み	お金の使い込みの具体的ケースを紹介し、それをどう防止するのかを考え、罰則についても学びます。	□
第7回	ミニテスト１	ミニテスト（第1回）を実施します。併せて、これまでのまとめを行います。	□
第8回	ミニテスト1の解説	ミニテスト1の解説をします。	□
第9回	【各論（情報②）】顧客情報の管理	ビジネスの流れに沿って、顧客情報の取得、管理に関するルールを学びます。これを漏洩したときの企業の対応についても考えます。	□
第10回	【各論（ヒト②）】残業時間のルール	労働時間に関する基本的な規制を学んだ上で、なぜ違法な残業がなくならないのか、それをなくすにはどうすれないいのかを考えます。	□
第11回	【各論（カネ②）】下請法と独禁法	企業や市場の規模に差が存在する企業間の商取引について、下請法と独禁法という2つの法律から、事例に則して、その適法性・妥当性を検討します。	□
第12回	【各論（モノ②・情報③）】著作権の留意点／SNSやネットの利用	便利なSNSやネットも、その利用方法や発信内容次第で重大なコンプライアンス違反が生じます。様々なケースを紹介し、その問題点と防止策を考えます。また、著作権に関するルールの概要を説明します。	□
第13回	【各論（ヒト③）】副業に関する留意点	昨今注目される副業とは何かをイメージし、それがもたらすメリットやデメリットを知り、経営者と従業員のそれぞれにおける留意点を学びます。	□

第14回	ミニテスト２	ミニテスト（第2回）を実施します。併せて、これまでのまとめを行います。	□
第15回	ミニテスト2の解説／総括	ミニテスト2の解説をします。また、これまでの講義を通して紹介した内容を整理し、コンプライアンスの意識を高め、コンプライアンス違反が生じないようにするにはどうすればよいか、経営者と従業員の双方の視点で方法論を考えます。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

【予習】次回講義までに、教員が指示したテキストの該当頁を読み、当該分野に対するイメージを膨らませつつ、該当頁で不明な言葉があればその言葉の意味を調べておいてください（約２時間）。 【復習】講義で説明した内容を踏まえ、テキストの該当頁を改めて読むことで、コンプライアンスに関する理解と知識を深めてください（約２時間）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

第７回と第14回に、当該回までの講義で説明した基本的な法知識と、コンプライアンス思考を問うミニテストを出します。それぞれ次の回に、個別に採点した課題を返却し、全体講義でもフィードバックします。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
主体性	**◆ 2021地域ビジネスDP3**	履修した学生は、コンプライアンスに関する正しい思考や知識を身につけることで、全国屈指の企業数を誇る愛知県内で、様々なジャンルの企業の健全な発展に貢献できるようになります。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
		40%	50%	10%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内試験（ミニテスト）を２回（１回あたり２５点満点）実施します。また、講義内における積極的で優良な発言があった学生や授業に対する姿勢等に対し、最大で１０点を付与します。期末レポートで４０点とします。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	これだけは知っておきたいコンプライアンスの基本24のケース 「会話で学ぶ」ビジネストラブル防止対策（秋山進著／出版社：日本能率協会マネジメントセンター）	9784820728436
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	講義内において適宜指示します。	
2		
3		
4		
5		